

コミュニティ(自治)に関する研究

②中間支援組織の実態把握と連携の可能性検証 (2016年～2019年)

◇概要

中山間地域をはじめとした農山村では、人口減少や高齢化の進展によって集落機能の低下が進んでいます。島根県では、公民館区等の範囲を基本とした「小さな拠点づくり」を進めていますが、行政職員の人員減によるマンパワー不足や行財政の緊縮化などリソースが限られてくることが想定されるため、各分野において専門的な支援が可能な中間支援組織と協働した新たな支援体制づくりに着手しています。本研究では、これらの実態把握に加えて、中間支援組織による効果的な支援に必要な手法・条件整備について検討を行いました。

◇現状と課題

中間支援組織の活動は、都市部をはじめとしたNPOや市民活動の分野では盛んなものの、中山間地域をはじめとした地域づくり支援の分野では市町村・地域ともに認知が進んでいないのが現状です。中間支援組織が地域づくり支援に関わることが地域にどのような影響・効果を与えるのかを明らかにすることや、協働するための条件整備が必要となっています。

◇研究方法

中間支援組織による地域づくり支援が果たす役割について、事業の検証・分析を中心として調査研究を行いました。

- ①中間支援組織の組織体制、支援内容の把握
- ②中間支援組織の地域活動への波及効果
- ③市町村との地域づくり支援における共同の可能性と課題

◇研究結果と成果

2016～19年度の4ヵ年、県による「中間支援組織による地域支援業務」を受託した組織は7組織ありました。法人格や組織規模は異なるものの、市町村と協働した支援が実施されました。本研究では、主たる事業での支援先によって「地域伴走型」と「企業型」に分類しました。地域伴走型は、主に地域組織を対象とした地域づくり支援を展開しており、事業規模が小さく人員も限られています。企業型は、主に自治体等を対象として計画の策定、ビジョンづくりなどのコンサルティング業務を実施しており、事業規模が大きく複数事業が展開されています。

地域伴走型支援では、地域組織の地域ビジョンや計画づくりにおいて住民に近い立ち位置からのファシリテーションや共同作業を通じた関係性構築が行われており、地域に応じた柔軟な支援が展開されています。企業型支援では、自治体等での計画づくりなどで培われてきた豊富な経験に基づいたパッケージ的な支援や外部有識者なども巻き込んだイベント的な支援も見られました。それぞれ重なる部分もありますが、地域へのアプローチ手法で差異が見られました。

本研究では、中間支援組織を地域伴走型と企業型に分類したが、地域へのアプローチ方法は大きく異なり、それぞれの持つ強みと弱みを把握した上での支援が求められています。そのためには、地域づくり支援の現場における中間支援組織によるインプットとアウトプット、支援終了後の地域での継続性などの視点からの検証が必要です。

研究成果データ

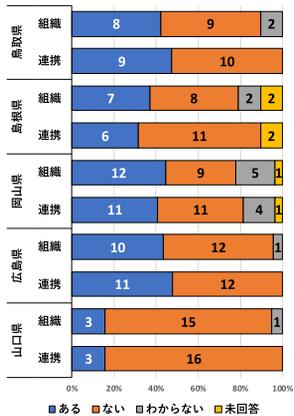
表1. 県事業中間支援組織の一覧 (2016～19年：島根県事業)

法人格	組織名	実施年度	市町村	支援地区	主な支援先	類型	主な支援内容
一般社団法人	スクナヒコナ	2016～18 2018～19 (4ヶ年)	雲南市	民谷地区 吉田地区 掛合地区 飯石地区 南部山間地区	民谷地区振興協議会 吉田地区振興協議会 掛合自治振興会 雲見の里いし 山間地区の存続を 考える会	地域伴走型	地域づくり支援 生活機能の確保（移動販売） 都市農村交流の推進 振興部ネットワークの構築 地域要望のとりまとめ（事務局）
有限責任 事業組合	CAME lab.	2016 (1ヶ年)	川本町	北地区	三原地区連合自治会 三原の未来基金 三原をもっと知ろう会 三原探検隊 竹原町研究会	地域伴走型	地域住民・組織の機運醸成 ネットワークの育成 地域でチャレンジし支援 自治体との支援体制の強化
NPO法人	スサノオの風	2017～18 (2ヶ年)	出雲市	須佐地区 窪田地区	宍田自治協会 （小さな駒背 づくり部会）	地域伴走型	地域住民・組織の機運醸成 計画づくり支援 ネットワークの育成
株式会社	シーズ	2017 2018～19 (3ヶ年)	浜田市・ 美郷町	木田地区 郡資本郷地区	木田地区振興協議会 （木田暮らしの学校） 郡資本郷連合自治会 （支庁会）	企業型	都市農村交流の推進 地域ニーズの把握（風車駐在） 拠点施設の利用促進
株式会社	道の駅	2017 (1ヶ年)	海士町	海士地区	明日の海士をつくる会 大の浜地区 チャレンジファーム 島原農協	企業型	地域住民・組織の機運醸成 都市農村交流の推進 ネットワークの育成
株式会社	エブリプラン	2018～19 (2ヶ年)	奥出雲町	三成地区	三成郷づくりの会	企業型	地域住民・組織の機運醸成 計画づくり支援 外部資金の獲得（トヨタ財団）
NPO法人	ひろしまね	2019 (1ヶ年)	川本町	中央地区	中央公民館区	地域伴走型	地域住民・組織の機運醸成 地域ニーズの把握（自治会調査） 自治体との支援体制の強化

表2. 中間支援支援組織の支援内容 (2016～19年：島根県事業；一般社団法人スクナヒコナ)

実施年度	新旧	支援地区	主な支援先	主な支援内容	実践活動（地域の動き）
2016 1年目	新規	民谷地区	民谷地区振興協議会 （地域自主組織）	・部会での助言、情報提供 ・先立地調整のコーディネート ・独資高齢者への聞き取り調査	・買い物支援の実現（移動販売） ・里山暮らしの活動開始
2017 2年目	継続	民谷地区	民谷地区振興協議会	・都市農村交流、後継者育成への支援 ・ブランド、特産品づくり支援	・若者会（自身会）の立ち上げ ・里山暮らしの活動開始 （都市農村交流が活発になる）
2018 3年目	継続	民谷地区	民谷地区振興協議会	・交流C改修の調査（食品加工） ・広域財の作成（地域団体の紹介） ・監査組織の話し合いの場づくり	・サポートデスクの立ち上げ ・上記の広域財を通じて商品販売
	新規	吉田地区	吉田地区振興協議会 （地域自主組織）	・全住民アンケートの作成支援 ・事業の開始し、ふりかえり ・よした門前会議（地区内連携）	・全住民アンケートの実施 ・地区計画の体制づくり始動
	新規	掛合地区	掛合自治振興会 （地域自主組織）	・全住民アンケートの集計支援 ・地区計画づくり支援	・アンケートを基に意見交換実施 ・地区計画の体制づくり始動
2019	継続	飯石地区	雲見の里いし （地域自主組織）	・地区計画づくり支援 ・旧飯石小学校の跡地活用	・小学校の活用策決定 ・地区計画策定委員会の組織
	継続	吉田地区	吉田地区振興協議会	・地区計画づくり支援 （計画づくりファシリテーション）	・地区計画の策定 （山間地区強盛会への参加）
4年目 継続	継続	掛合地区	掛合自治振興会	・地区計画づくり支援 （計画づくりファシリテーション）	・地区計画の策定
	継続	飯石地区	雲見の里いし	・地区計画づくり支援 （計画づくりファシリテーション）	・地区計画の策定
新規	雲南市 山間5地区	山間地区の存続を考える会 （吉田、民谷、田井、渡喜、 入間地区の地域自主組織）	・協会の事務局運営 ・毎回の議決の調整（全8回実施）	・各地区の要望ととりまとめ ・雲南市長、議員へ要望書提出	

地域づくり分野



移住定住分野

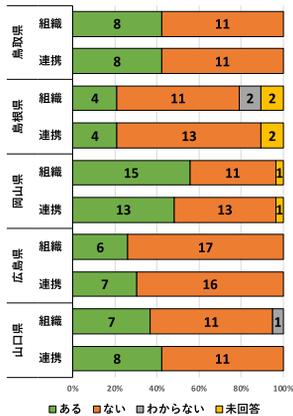


図1. 中間支援組織と連携・協働の有無 (2018年：中国5県研究)

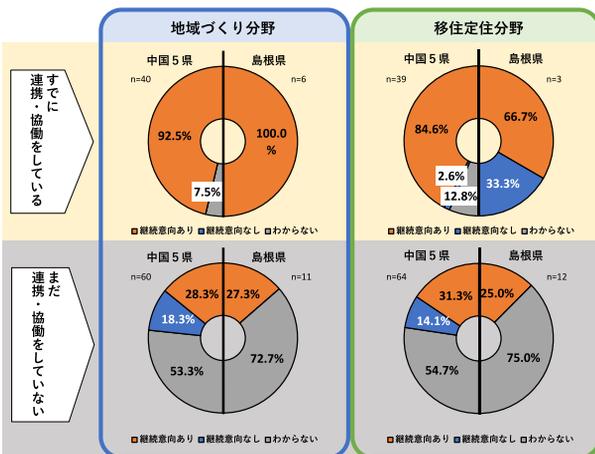


図3. 中間支援組織との今後の連携・協働の意向 (2018年：中国5県研究)

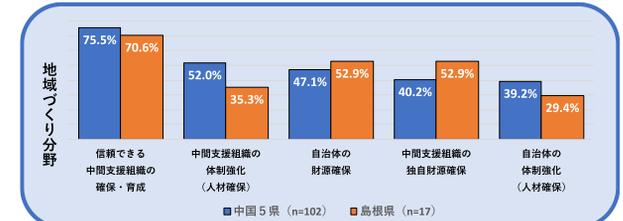


図2. 中間支援組織との連携・協働に必要な条件 (2018年：中国5県研究)

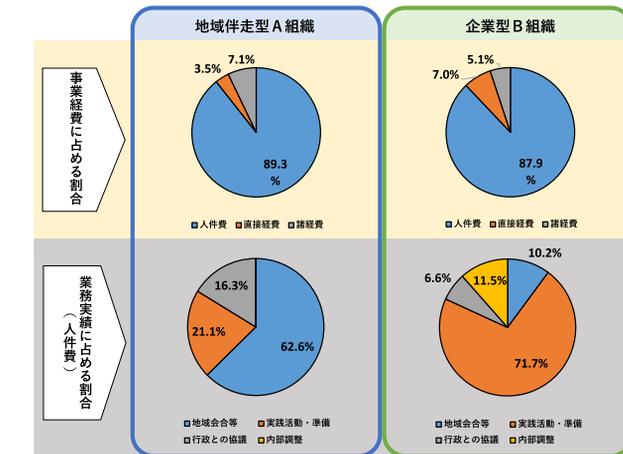


図4. 類型別中間支援組織の業務割合（参考値） (2016～19年：島根県事業) ※事業内容が異なるため参考資料

◇連絡・問い合わせ先

島根県中山間地域研究センター 企画情報部 地域研究科
 担当 主任研究員 東良太、研究企画監 有田昭一郎
 〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207番地
 TEL: 0854-76-3846 FAX: 0854-76-3758
 E-mail: azuma-ryota@pref.shimane.lg.jp HP: http://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/